

首都圏ヒノキ会新年方針説明会を開催

ヒノキ新薬

ヒノキ新薬(阿部武彦社長)は1月10日、都内で新年方針説明会を開催し、当日は系列「ヒノキ新薬(仙台)」の販売店から17名が出席した。



会の冒頭、伊藤、ヒノキ肌化粧品(藤洋子会長)が「クレンジングやハンド・クリームの良さをお客様に伝えてきたことで、最近も新しいお客様の獲得につながっている。」と語り、

「日々の作業に追われ、自分の行ってきた仕事に対して振り返る機会が減ってきていると感じている。今年、来年はヒノキ新薬が70周年を迎える。また、来年はヒノキ新薬が70周年を迎える。また、来年はヒノキ新薬が70周年を迎える。」

「日々作業に追われ、自分の行ってきた仕事に対して振り返る機会が減ってきていると感じている。今年、来年はヒノキ新薬が70周年を迎える。また、来年はヒノキ新薬が70周年を迎える。」

「日々作業に追われ、自分の行ってきた仕事に対して振り返る機会が減ってきていると感じている。今年、来年はヒノキ新薬が70周年を迎える。また、来年はヒノキ新薬が70周年を迎える。」



エフ・ジー・ジェイ株式会社 代表取締役社長

吉田 和弘 氏



「本社スタッフのほとんどが販売スタッフとしての経験を積んでいて、一人ひとりが主体的に考えながら一体となって取り組む集団になることを目指す(同上)」

エフ・ジー・ジェイ(本社東京都港区)は、さまざまなブランドの商品を自由に選択して試すことのできるセミセルフ型ビューティセレクトショップ「Fruit GATH ERING(フルーツギャザリング)」を全国に27店舗展開している。

社長就任後約半年間は、スタッフや取引先担当者との顔を全て覚えることを一番の目標に掲げ、各地に赴いた。約2カ月かけて全店舗を訪れてスタッフとコミュニケーションを図ったが、現在も時間があれば店舗を訪れるように心がけている。

品市場は回復傾向を見せており、フルーツギャザリングの売上も増加傾向を示している。フルーツギャザリングで最大規模の面積を誇る三子玉川ライズ店は、コロナ禍前の19年

チームワーク力の高さでさらなるブランド価値向上へ

NITEX 粧工会

化粧品基準とCASRNを関連付けし、NITE-CHRIIPで公開

独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE(ナイト)、長谷川史彦理事長)は、日本化粧品工業会(魚谷雅彦会長)と連携し、薬機法化粧品基準で規定されている化学物質について、CASRN(CAS(米国化学会の情報部門)が管理する化学物質データベースで付与される化学物質固有の識別番号)との関連付けを行い、化学物質総合情報提供システム(NITE-CHRIIP)に公開した。

化粧品基準は、化粧品 掲載されている国内外の原料に関する、配合できない法規制対象や有害性・リ成分(ネガティブリス ト)・配合できる成分(ポジティブリス ト)を一覧で表示することにより、化粧品事業者がより安全な化粧品の製造等を行うために必要な関連情報収集を容易にする環境が整備されている。今回、これら化学物質について、NITE-CHRIIPに集約される環境が整備されている。今回、これら化学物質について、NITE-CHRIIPに集約される環境が整備されている。今回、これら化学物質について、NITE-CHRIIPに集約される環境が整備されている。

(禁無断転載) ©R
本紙の全部または一部を無断で複製(コピー)することは、堅く禁じられています。本紙からの複製を希望される場合は、出版者著作権管理機構(JCOPY)(03-3513-6969)まで必ずご連絡下さい。